

各 位

平成18年12月27日  
近畿日本ツーリスト株式会社  
総務・広報部 担当：澤野井  
(TEL：03 - 3257 - 1661)

## 旅行取扱状況の概観（平成18年11月分）

海外旅行の取扱額では、団体旅行、学生団体が共に2桁増と取り扱い好調で、合計でも2桁増となり、これで3ヶ月連続の前年比プラスと好調を継続した。企画旅行は、ホリデイの取り扱い堅調により、合計では前月に続いての前年比プラス。個人旅行はクーポン券の取り扱い低調が続き、前月に続いて前年比マイナスとなった。

海外旅行合計は、団体旅行の好調、企画旅行の堅調により、前年比107.9%と前年実績を上回り7ヶ月連続の前年比プラスと好調。

国内旅行の取扱額では、団体旅行は一般団体、学生団体が共に取り扱い低調で、合計では前年実績を下回った。企画旅行はメイトの取り扱い好調により4ヶ月連続の前年比プラスと好調に推移した。個人旅行では、宿泊券、航空券、JR券は前年並み実績を確保したが、その他クーポン類の取り扱い低調により前年実績に達しなかった。

国内旅行合計は、企画旅行は好調であったが団体旅行の低調により前年比99.5%と前年実績に届かなかった。

国際旅行は、団体の取り扱い好調により前年比102.2%と前年実績をオーバーした。

11月の総取扱額は、海外団体旅行・国内企画旅行の好調、海外企画旅行の堅調により、前年比で102.3%と前年実績を超え、7ヶ月連続の前年比プラスと堅調に推移した。

### 1. 海外旅行

#### (1) 団体旅行

一般団体は、取り扱い件数が増加し、前年比で2桁増と好調で、前月に続いての前年比プラスとなった。学生団体は、取り扱いを大きく伸ばし6ヶ月連続の前年比プラスと好調が続いている。団体の方面別取り扱いでは、中国、台湾、香港、ハワイが特に好調であった。

#### (2) 企画旅行

ホリデイは燃油サーチャージの影響もあって、取扱額前年比104.6%、取扱人数前年比97.6%と乖離が見られるが取扱いは堅調に推移している。ホリデイの方面別取り扱いでは、中国、香港が好調であった。

### 2. 国内旅行

#### (1) 団体旅行

一般団体は、取り扱い件数を伸ばしたが、前年大型団体取り扱いの反動もあって前年実績には達しなかった。学生団体も修学旅行、校外研修等の取り扱い件数が減少し、前月に続いての前年比マイナスと低調。

#### (2) 企画旅行

メイトは、取扱額前年比110.2%、取扱人数前年比で105.8%と、前月同様に遠距離商品の好調により4ヶ月連続での前年実績オーバーと好調。商品別の状況も前月と傾向は変わらず北海道、沖縄方面商品、および東京地区商品、関西地区商品が好調であった。

(以上)